

スタンフォード大で 英語のプレゼン披露

ネット講座 最優秀受講生表彰

鳥取市

米スタンフォード大と鳥取県教委などが連携して開く、高校生向けのインターネット講座「グローバルリーダーズキャンパス」で、今年8月に同大学を訪れ英語でプレゼンテーションをした鳥取西高3年の馬淵満葉子さん(17)と米子東高3年の岡部真凜さん(18)が、平井伸治知事を訪問し、活動を報告した。同講座は幅広い国際感覚や世

平井知事に活動報告

界で活躍する人材を育てようと、2016年から毎年開講している。馬淵さんと岡部さんは22年度の参加者で、13校30人の受講生の中で特に優れた成果を上げたとして、最優秀受講生に認定された。

2人は8月17日に同大学での表彰式に参加し、関係者らの前でプレゼンテーションを披露。馬淵さんは米国で普及する配車サービスを生かした鳥取の交通インフラの改善について、岡部さんは施設と連携した里親制度の普及について、それぞれ自分の考えを英語で述べた。

県庁での表敬訪問で平井知事は「鳥取県民にとって大変誇らしい発表だった」と賛辞を贈った。

馬淵さんは「自分が世界に行くイメージがはつきりした。将来は米国の大学院に行きたい」と意気込んだ。岡部さんは「いろんな人と意見交換することで培った多面的に考える力で、答えのない問題に取り組みたい」と話した。

(安井桃華)

岡部さん(米子東高3年) 馬淵さん(鳥取西高3年)



最優秀受講生の盾を持つ岡部さん(左)と馬淵さん